

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

今、注目されているオーセンティック・リーダーシップ 入山 章栄 (早稲田大学ビジネススクール教授)

1. 世界中の何万という経営学者によって、組織のモチベーションの上げ方や人を引き付けるリーダーの法則は理論化されています。経営学者によるリーダー像の研究の中で、今、最も注目されている考え方の一つが、オーセンティック・リーダーシップです。端的に言うと、自分をさらけ出すリーダー・シップです。
2. 昔は組織のメンバーが固定されていて、与えられたタスクをしっかりとやる仕事ばかりでした。みんなを引っ張っていく力強いリーダーが必要でした。ところが、リーダーが上から目線で「俺が俺が」という感じでやると、心理的安全性がなくなり、下の人たちが全然発言できなくなります。発言しないから、チームが機能しなくなる。
3. これに対して、オーセンティック・リーダーシップは、自分そのものをさらけ出すから、チームのメンバーは「この人は頼りないけど、嘘偽りはない。じゃあ、サポートしてあげよう」という気持ちになります。組織の求心力や心理的安全性が高くなり、みんなが多様な意見を言うようになるようになり、結果的に組織として機能します。人の出入りが激しく、変化が激しい時代には、こういうリーダーがすごく重要だ、と経営学ではいわれます。

(参考:「日経ビジネス」2023年4月17日号)

経営者のための社会学

「安いニッポン」現象が鳴らす警鐘

1. 近年、「安いニッポン」が耳目を集めている。諸外国に比べて物価が安い現象だ。英国の「エコノミスト」誌によると、2000年4月時点で、日本のマクドナルドの「ビックマック」の売価は米国やユーロ圏より高額だったが、23年1月の調査では4割近く安価となった。22年には中国の売価も下回った。直接の要因は長期の物価低迷と円安だ。
2. 「安いニッポン」自体には輸出増や購買力増につながるメリットもある。が、それが低い生産性と低賃金の産物とすれば、望ましいとはいえない。日本でビックマックが安いのは、賃金が低いからかもしれないのだ。「安いニッポン」現象は、生産性を高められず所得を増やせなかった日本への警鐘ともいえる。

(参考:「週刊東洋経済」2023年4月8日号)

経営者のための危機管理

天才を模倣してはいけない

瀧澤 中 (作家)

1. 「本能寺の変」には、たくさんの不思議がある。信長はなぜ油断したのか。信長のような天才的強者は「自分は間違いを犯さない」と思いがちで、それが油断の要因になり得る。この点、徳川家康にはそういう「軽挙」が見られない。家康には、死に対する素直な恐怖があった。健康維持も律儀さも、全て恐怖を避けるための地道な布石であるが、信長にはそれが見られない。
2. この天才的強者の油断を見るにつけ、私はいつも思う。「天才は模倣できない」のではなくて、「天才を模倣してはいけない」のだと。先行き不透明な時代だからこそ、「時代を動かしてきた多くの良き事象は、凡人による努力の積み重ねであった」ことを思い出したい。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2023年4月1日号)

古典に学ぶ

同じ風景も全く違って見える

1. たとえば、Aさんが「お金がほしい」と思っていたとしたら、会う人すべて、世の中のすべてが金儲けの対象に見えるでしょう。また、物事の判断基準は、「損か、得か」でしかないはずです。
2. 一方、「この世から貧困や格差をなくしたい」と思っているBさんにとって、人々は皆幸せになるべき存在であり、世界は解決すべき問題にあふれているでしょう。このように、同じ景色を前にしても、どのような眼鏡をかけるかによって、AさんとBさんでは違う世界が見えます。

(参考:名取彦彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)